

- 1 目的 知的障害教育における児童生徒のニーズに応じた学習指導についての理解を深め、指導力及び専門性の向上を図る。
- 2 日程 令和元年6月25日（火）16：00～16：55
- 3 会場 広島県立呉特別支援学校（プレイルーム）
- 4 内容 講義及び演習「知的障害の特性について学ぶ」  
講師 教諭 岡田 朋代（特別支援教育コーディネーター）



講義では、本校の特別支援教育コーディネーターから「特別支援学校のセンター的機能」「適切な支援のために」と題して具体的な事例を基に説明を受けました。「センター的機能」ではコーディネーターのみがセンター的機能を受け持つのではなく、学校全体、一人一人の教職員がその責務を担うことを自覚していくことが必要であること、また知的障害と発達障害の違いを改めて確認し、その上で適切な支援・指導を行うためにアセスメントを十分に行うことが必要であると学びました。



「子供の困り感を体験」  
発達障害の人がもつ感覚の疑似体験を行いました。

それぞれの子供により認知の仕方が違うことを体験しました。

「適切な支援について」  
全体の講義の後は、学級ごとに分かれ、児童生徒の困り感を共有して、適切な支援の方法について話し合いました。

